

- 問1 東北地方の太平洋側に位置するある県は、その海岸線北部に、山地が沈み込んで形成された複雑な入り江を持つ三陸海岸を有しています。この県の名前として正しいものを選んでください。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 青森県

2. 宮城県

3. 福島県

4. 岩手県
- 問2 東北地方において、冬の時期に伝統的工芸品の製造が発達した地理的な理由として、最も適切な記述を選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)

1. 冬の時期だけに海外からの輸入原料が港へ大量に届き、集中的に加工する必要があったから

2. 冬は一年の中で最も温暖で乾燥した気候となり、塗料や木材の乾燥に最も適していたから

3. 冬は降水量が非常に少なく日照時間が長いので、屋外での作業効率が向上したから

4. 冬は一面が雪でおおわれ屋外の農作業ができないため、その農閑期を利用して手作業を行ったから
- 問3 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)

1. 対馬海流

2. 日本海流（黒潮）

3. 千島海流（親潮）

4. リマン海流
- 問4 夏の東北地方の太平洋側において、寒流である親潮の影響を受け、冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらず稲などの農作物の成長が妨げられる「冷害」が発生することがあります。この風を何と呼びますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. からっ風

2. フェーン

3. やませ

4. 季節風
- 問5 東北地方の太平洋側、特に宮城県沿岸部において、冬の降水量が少なく乾燥した晴天の日が多くなる理由として、地形と風の影響をふまえて説明したものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)

1. 冬に暖流である対馬海流の上を通る湿った風が、山脈にぶつかる前に太平洋側へ直接吹き込むため。

2. 奥羽山脈が夏に太平洋側から吹く湿った南東の季節風を遮り、冬にだけ雨雲を通過させる仕組みになっているため。

3. 冬の北西の季節風が奥羽山脈を越える際、日本海側に雪を降らせ、太平洋側には乾燥した空気が流れ込むため。

4. 夏に冷たい千島海流（親潮）の影響で冷害が発生し、その影響が冬まで残って雲の発達を妨げるため。
- 問6 東北地方の太平洋沿岸部には、山地が海に沈み込んでできた複雑に入り組んだ海岸線が見られます。この「リアス海岸」と呼ばれる地形が漁業に与えている影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)

1. 砂浜海岸が続くため、地引網による漁法が発達しており、主に加工用のイワシを大量に漁獲するのに適している。

2. 水深が深く、波が穏やかな入り江が多く形成されるため、ワカメやカキなどの養殖業や良港の建設に適している。

3. 海岸線が直線的で遠浅の海が広がるため、大規模な干拓を行いやすく、沿岸部での稲作との兼業が盛んである。

4. 冬の季節風の影響を受けにくいので、一年を通じて温暖な気候が保たれ、亜熱帯性の魚類の定置網漁が中心となっている。
- 問7 東北地方には南北に奥羽山脈が走っています。夏季に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹いた際、地形が及ぼす影響について説明した文として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 奥羽山脈を越える際に風が湿気を帯びるため、日本海側の地域で大雨が降りやすくなる。

2. 内陸の盆地では、奥羽山脈から吹き下ろす冬の冷たい北西の風によって冷害が発生する。

3. 奥羽山脈が障壁となるため、風の影響は山脈の東側にある太平洋沿岸部で特に顕著になる。

4. 奥羽山脈によって風が遮られるため、青森県などの太平洋沿岸部は常に温暖な気候が保たれる。
- 問8 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけて、太平洋上の北東方向から冷たく湿った風が陸地に向かって吹き込むことがあります。この風の影響で夏の気温が上がらず、米などの農作物の成長が妨げられる現象を何と呼びますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. フェーン現象

2. やませ

3. 季節風（モンスーン）

4. からっ風
- 問9 東北地方では、青森ねぶた祭や仙台七夕まつりといった伝統行事が重要な観光資源となっています。2024年の統計資料によれば、これらの祭りは多くの観光客を呼び込み、地域に多額の利益をもたらしています。このように、祭りの開催によって宿泊施設や飲食店、交通機関などの売上が増え、地域全体に及ぼされる経済的な波及効果を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 過疎化の抑制

2. 伝統的工芸品

3. 経済効果

4. 地産地消
- 問10 東北地方の中央部を縦断する奥羽山脈が、この地域の気候に与える影響についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 標高が非常に高いため、山脈を境に気温差が激しくなり、日本海側のみが一年中温暖な気候となっている。

2. 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。

3. 山脈が季節風を完全に遮断するため、東北地方の太平洋側では年間を通して降水量が極めて少なくなっている。

4. 夏の冷たい風である「やませ」を遮ることで、太平洋側の平野部における冷害の発生を完全に防いでいる。
- 問11 東北地方の地方中枢都市として機能し、周囲の自治体から通勤・通学者が多く流入するために昼間人口割合が100%を超えている一方、大規模な重化学工業地域を持たないため工業製造品出荷額が比較的小さい政令指定都市はどこですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

1. 堺市

2. 広島市

3. 仙台市

4. 京都市
- 問12 東北地方の南部に位置し、都道府県別の面積において北海道、岩手県に次いで全国で3番目に大きい約1.4万平方キロメートルの面積を持つ県について、その工業的特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)

1. 伝統的工芸品である会津塗の産地として知られるほか、高速道路網の整備に伴って内陸部に電気機械工業が発展した。

2. 県庁所在地の1月の日照時間が130時間を超える太平洋側の気候を活かし、広大な平野部で自動車の組み立て工場が集中している。

3. 日本海側の雪の多い気候を活かした繊維工業が古くから発展しており、現在も化学繊維の生産量が全国で最も多い。

4. 内陸部の盆地を中心に果樹栽培が盛んで、それらの加工を目的とした食品工業の出荷額が全国1位となっている。
- 問13 冬季に降雪（降水）が多い南部の山々を源流とする河川が流れ、その周辺に平野が形成されている地域の自然環境と産業の関係について述べた次の文のうち、適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 季節風によって運ばれた砂が海岸沿いに砂丘を形成しており、水はけの良さを活かしたメロン栽培が盛んである。

2. 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。

3. 火山灰が降り積もってできた台地が広がっており、冷涼な気候を活かした乳牛の放牧が行われている。

4. 河口付近に広大な三角州が形成されており、重化学工業を支える大規模な掘込港湾が整備されている。